

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)横浜戸塚物産施設計画	階数	地上4F、地下0F
建設地	神奈川県横浜市	構造	S造
用途地域	工業地域、法22条区域	平均居住人員	272 人
地域区分	6地域	年間使用時間	6,205 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年2月 竣工	評価の実施日	2023年9月11日
敷地面積	19,073 m ²	作成者	株式会社イゾミシステム設計
建築面積	10,700 m ²	確認日	2023年9月15日
延床面積	38,694 m ²	確認者	株式会社 安藤・間一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 高効率な設備機器、節水器具を積極的に採用し、省エネ性能に配慮している。また、階高・壁長さ比率・荷重に余裕をもたせ、ゆとりのある計画としている。		その他 特になし。
Q1 室内環境 評価対象外。	Q2 サービス性能 耐用年数の長い外壁・内装材を採用し、建物の維持管理に配慮している。また、階高・壁長さ比率・荷重にゆとりのある計画とし、機能性に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 周辺環境に配慮し、敷地境界線沿いに植栽を積極的に設けている。また、外観パースを作成し、景観検証を行うなど、まちなみに配慮している。
LR1 エネルギー 照明にLEDを採用するなど、高効率な設備システムを導入し、省エネルギーに配慮している。	LR2 資源・マテリアル 節水器具の採用やリサイクル材の積極的な採用で、資源の保護に配慮している。また、ノンフロン断熱材を採用することで、環境影響を及ぼす材料の使用削減に配慮している。	LR3 敷地外環境 燃焼機器は採用せず、大気汚染に配慮している。また、敷地出入口は車両用と歩行者・バイク用を分離し、車両の出入りを白線で区切る等、渋滞緩和に寄与している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される